

別冊

【参考資料】

令和4年3月

逢初川土石流災害に係る行政対応検証委員会

【参考資料】

ア	位置図・写真	頁
(ア) 熱海市伊豆山地区		
・	逢初川概要図	1
・	熱海市伊豆山の土石流災害概要図	2
・	源頭部崩壊箇所	3
(イ)	A社の土地取得位置図(約35万坪)	4
(ウ) 熱海市逢初川源頭部の盛土の造成状況		
・	<u>写真1</u> 2006年9月20日撮影 土地改変行為前の状況	5
・	<u>写真2</u> 2007年5月22日撮影 県東部農林事務所現地調査	6
・	<u>写真3</u> 2008年12月12日撮影 ヘリコプター撮影(県防災ヘリから)	7
・	<u>写真4</u> 2009年10月9日撮影 県熱海土木事務所現地調査	8
・	<u>写真5-(1)</u> 2009年11月4日撮影 県及び市が今後の対策を協議	9
・	<u>写真5-(2)</u> 2009年11月4日撮影 県及び市が今後の対策を協議	10
・	<u>写真6-(1)</u> 2010年8月30日撮影 県東部健康福祉センター現地調査	11
・	<u>写真6-(2)</u> 2010年8月31日撮影 県東部健康福祉センター現地調査	12
・	<u>写真6-(3)</u> 2010年8月27日撮影 県東部健康福祉センター現地調査	13
・	<u>写真6-(4)</u> 2010年8月27日撮影 県東部健康福祉センター現地調査	14
・	<u>写真7</u> 2010年10月7日撮影 県東部健康福祉センター現地調査	15
・	<u>写真8</u> 2010年10月13日撮影 調圧槽手前に大量の土砂を確認	16
・	<u>写真9</u> 2010年11月2日撮影 斜面崩落状況等	17
・	<u>写真10</u> 2011年3月4日撮影 県及び市で合同調査	18
・	<u>写真11</u> 2011年7月13日撮影 D社が防災工事開始	19
・	<u>写真12</u> 2011年8月30日撮影 D社が市に法面補修工事写真帳を提出	20
・	<u>写真13</u> 2011年8月30日撮影 県東部健康福祉センター現地調査	37
・	<u>写真14</u> 2011年10月4日撮影 斜面の崩落修復作業中	38
・	<u>写真15</u> 2011年10月7日撮影 現地調査	39
・	<u>写真16</u> 2012年5月8日撮影 現地調査	40
・	<u>写真17</u> 2017年5月24日撮影 現地調査	41
・	<u>写真18</u> 2021年6月30日撮影 県東部健康福祉センター現地調査	42
・	<u>写真19</u> 2021年8月2日撮影 崩落後の盛土下端部	43
イ 事実関係整理表		
・	関係者一覧	44
・	逢初川土石流災害の事実関係整理表	45
ウ 関係者ヒアリング結果の概要		
・	ヒアリング結果(概要)	60
エ 関係法規集		
・	関係法令抜粋	65

【参考資料】

ア 位置図・写真

(ア) 熱海市伊豆山地区

逢初川概要図

- 逢初川
- 新設堰堤
- 仮設ブロック堰堤
- 既設堰堤

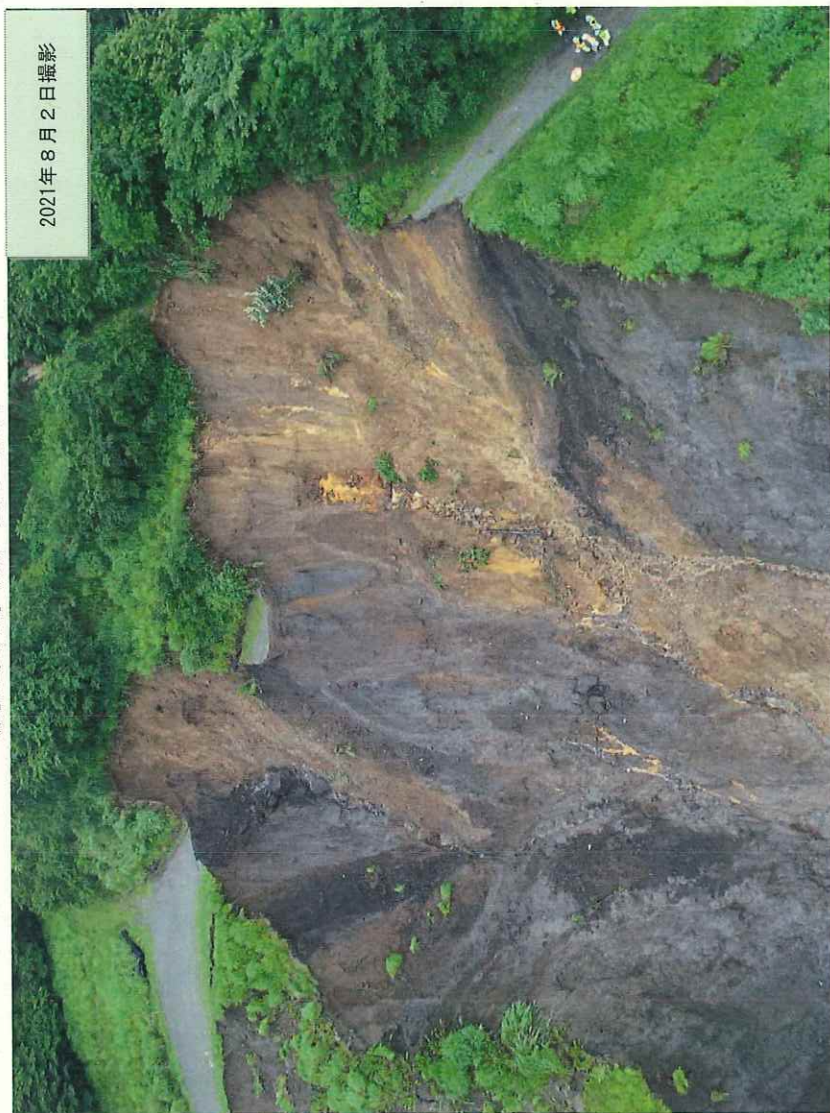


熱海市伊豆山の土石流災害概要図

源頭部崩壊箇所



源頭部崩壞箇所



2021年8月2日撮影

(イ) A社の土地取得位置図

(約35万坪)

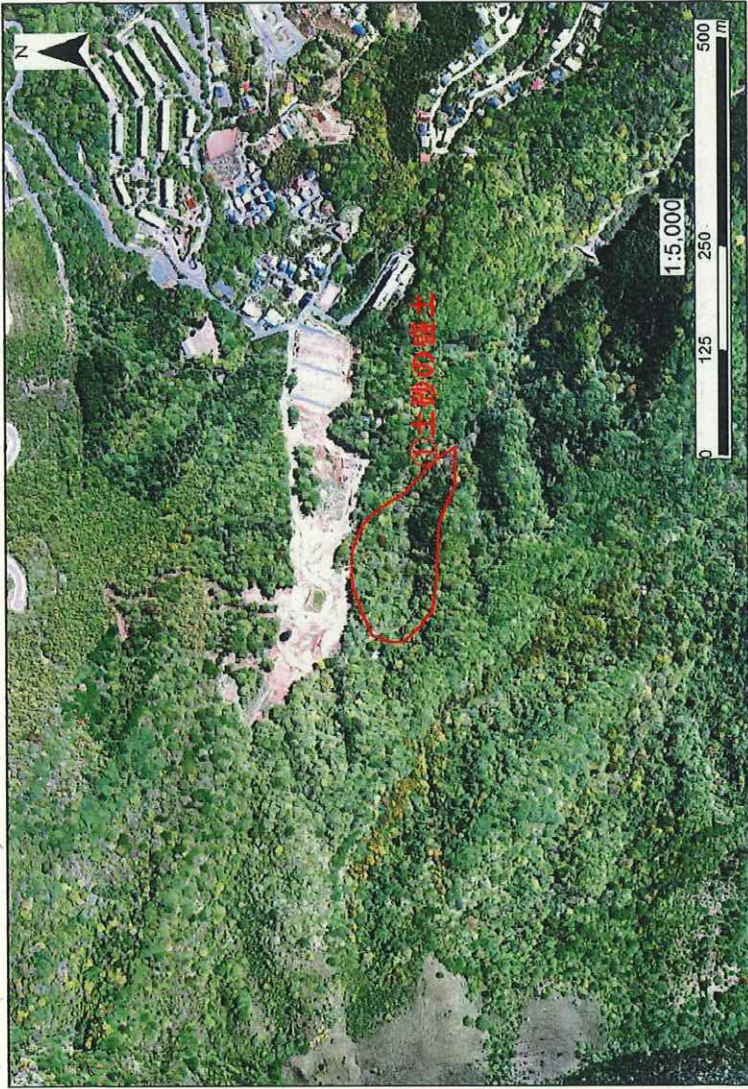
位置図 (購入敷地面積 約 35 万坪)



2006. 9. 21 A社が当該地を含む土地の取得位置図
(約 35 万坪 : A = 1, 169, 780. 43 m²)

(ウ) 熱海市逢初川源頭部の
盛土の造成状況

写真 1



2006年9月20日撮影 土地改変行為前の状況

写真 2



切株

沢の本流の標高350m付近に転石土留、その20mほど上流に土留柵。森林はすでに広範囲に伐採されている。

2007年5月22日撮影

県東部農林事務所現地調査

写真 3



2008年12月12日 ヘリコプター撮影（県防災ヘリから）

写真 4



雨水により、開発地の転圧不足の土砂が
流れ出ていることを確認。



2009年10月9日撮影

県熱海土木事務所現地調査

写真 5-(1)



2009(平成21)年11月4日 県及び市が今後の対策を協議

写真 5-(2)



2009(平成21)年11月4日 県及び市が今後の対策を協議

写真 6-(1)



盛土はすでに8～9段行われている。盛土の下部の土留は、2007年5月22日撮影のものと基本構造（転石土留＋土留柵）は同じである。
（注：写真の切株の位置から同じ場所を撮影していることが特定できる。
2007年5月22日の土留は、盛土の流出防止ではなく、無届出造成された斜面地からの土砂流出を防ぐために機能するものである。）

2010年8月30日撮影と推定される

写真 6-(2)

残土処分場の中盤あたりで、固化粧を混ぜながら修復していた。



崩れた場所から上段を望む。赤い線あたりから上の土に木くずが混入している。



残土の状況。20～30cm程度の木の棒がかなり混入している。



2010年8月31日撮影

県東部健康福祉センター現地確認

写真 6-(3)



残土処分場の上部にヘドロのようなものが置かれている。最上部は崩落したものであると思われる。

2010年8月27日撮影と推定される

写真 6-(4)



写真右では、残土処分場の上部道路よりさらに上部に盛土がされている。

2010年8月27日撮影と推定される

写真 7



写真左：残土処分場上部の道路よりさらに上部の盛土
写真右：残土の搬入量は減少したものの、搬入は継続していたと推定される

2010年10月7日撮影

写真 8



2010(平成22)年10月13日 調圧槽手前に大量の土砂を確認

写真① 上の樹木が仮置きした木くずの山。下が崩落した断面から現れた水くず



写真 9

奥から入り口方向を望む。写真右側の土壁部の斜面の土が盛り上がり上がっている感じ。



斜面崩落状況等

2010年11月2日撮影

写真 10



2011(平成23)年3月4日 県及び市で合同調査

写真 11



2011(平成23)7月13日 D社が防災工事を開始